

大江健三郎作品年譜（三嶽豊 作成）			
年	年号	年齢	主な作品
			『』は単行本 「」は短編 *は短編集 #エッセイ集など
1935年	昭和10	0	1月31日愛媛県喜多郡大瀬村に生まれる
1936年	26	16	4月 松山東高校に転校伊丹十三と出会う
1954年	29	19	一浪後、東京大学文科二類に入学
1957年	32	22歳	「奇妙な仕事」「死者の奢り」
1958年	33	23歳	「飼育」
			芥川賞受賞
			『死者の奢り』*
			『見るまえに跳べ』*
			『芽むしり仔撃ち』
1959年	34	24歳	3月 一年留年して東京大学を卒業
			『われらの時代』
1960年	35	25歳	2月 伊丹十三の妹ゆかりと結婚
1961年	36	26歳	「セヴンティーン」
			「政治少年死すーセヴンティーン 第二部」
1962年	37	27歳	『遅れてきた青年』
1963年	38	28歳	『性的人間』*
			6月 長男・光（ひかり）誕生
1964年	39	29歳	「空の怪物アグイー」
			『個人的な体験』
1965年	40	30歳	『ヒロシマ・ノート』#
1966年	41	31歳	4月 『大江健三郎全作品』全6巻 新潮社
1967年	42	32歳	『万延元年のフットボール』
			7月 長女・奈採子（なつみこ）誕生
1968年	43	33歳	
1969年	44	34歳	『われらの狂気を生き延びる道を教えよ』*
			7月次男・桜麻（さくらお）誕生
1970年	45	35歳	『沖縄ノート』#
1971年	46	36歳	
1972年	47	37歳	『鯨の死滅する日』#
			『みずから我が涙をぬぐいたまう日』*
1973年	48	38歳	『洪水はわが魂に及び』
1974年	49	39歳	『状況へ』#
1975年	50	40歳	
1976年	51	41歳	『ピンチランナー調書』
1977年	52	42歳	9月 「大江健三郎全作品・全6巻」第Ⅱ期 新潮社
1978年	53	43歳	『小説の方法』#
1979年	54	44歳	『同時代ゲーム』
1980年	55	45歳	「頭のいい『雨の木』」
			『現代伝奇集』*
1981年	56	46歳	
1982年	57	47歳	『「雨の木」を聴く女たち』*
1983年	58	48歳	『新しい人よ眼ざめよ』*

1984年	59	49歳	『いかに木を殺すか』*	
1985年	60	50歳	『河馬に噛まれる』*	
1986年	61	51歳	『M/Tと森のフシギ物語』	
1987年	62	52歳	『懐かしい年への手紙』	
1988年	63	53歳	『キルプの軍団』	
1989年	64/平成元	54歳	『人生の親戚』	
1990年	2	55歳	『治療塔』	
			『静かな生活』*	
1991年	3	56歳	『治療塔惑星』	
1992年	4	57歳		
1993年	5	58歳	『燃えあがる緑の木』第一部	
1994年	6	59歳	『燃えあがる緑の木』第二部	
			10月 ノーベル文学賞受賞	
1995年	7	60歳	「あいまいな日本の私」#	
			『燃えあがる緑の木』第三部	
1996年	8	61歳	『大江健三郎小説・全10巻』新潮社	
1997年	9	62歳		
1998年	10	63歳	『私という小説家の作り方』#	
1999年	11	64歳	『宙返り』	
2000年	12	65歳	『取り替え子（チェンジリング）』	
2001年	13	66歳		
2002年	14	67歳	『憂い顔の童子』	
2003年	15	68歳	『二百年の子供』	
2004年	16	69歳		
2005年	17	70歳	『さようなら、私の本よ！』	
2006年	18	71歳		
2007年	19	72歳	『大江健三郎 作家自信を語る』#	
2008年	20	73歳		
2009年	21	74歳	『水死』	
2010年	22	75歳		
2011年	23	76歳		
2012年	24	77歳	『定義集』#	
2013年	25	78歳	『晩年様式集（イン・レイト・スタイル）』	
2014年	26	79歳	『大江健三郎自選短篇』	
2015年	27	80歳		
2016年	28	81歳		
2017年	29	82歳		
2018年	30令和元	83歳	7月 大江健三郎全小説 刊行開始	
2020年	2	85歳		
2021年	3	86歳		
2022年	4	87歳		
2023年	5	88歳	3月3日逝去	

基本単行本刊行年でまとめた。書き下ろし以外、初出も大事だったが、一部のみ留めた。2023/07/03